

令和8年度 沖縄県立糸満高等学校 グランドデザイン

校訓

スクール・ミッション

大望実践 自主分別 立命感動

- 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通して、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成
- 変化する社会に対応するため、幅広い知識・教養と自ら考え、判断し、行動する力を身に付け、他者と協同して課題解決を図ることができる資質・能力を備えた生徒の育成

- 【本校の伝統・校風】「学校生活全般を勉学、スポーツ、その他あらゆる面で怒濤の如く邁進する」
- <凡事徹底> 「当たり前前の方が当たり前前ができる人が格好いい」
 - <怒濤精神> 「困難を乗り越えて頑張る気概」
 - <文武両道> 「勉強と部活の両立を全力でサポート」「文」のちからで「武」を磨く、「武」の力で「文」を磨く

【本校のセールスポイント】

1. 終戦後の昭和21年1月に創立され、今年度で創立81周年を迎える、地域に根ざした伝統ある学校である。
2. 文武両道・怒濤精神を校是とし、校訓「大望実践」「自主分別」「立命感動」を教育活動の根幹としている。
3. 令和7年度は、進路決定率**92.5%**、国公立大学**33名**、県内外私立大学**135名**と、高水準の進路実績を挙げた。
4. 部活動加入率は70%を超え、女子ソフトテニス部、男女バドミントン部やウエイトリフティング部、野球部など、県大会での上位入賞・優勝が期待できる活気ある学校である。
5. 素直な生徒が多く、文武両面において高い伸びしろを有する生徒が育つ学校である。
6. 職員と生徒が一体となって物事に取り組む協働性が高く、学校全体で支え合いながら活動できる点が最大のセールスポイントである。

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー

(生徒育成方針)

- ①明朗で、礼儀正しく、時間を守り、身なりを整えるなど凡事徹底を実践する生徒
- ②志を高く持ち、自己の目標を実現するため主体的、計画的に学習する生徒
- ③人権を尊重し、心身ともに健全で、たくましく生きる気力と体力を兼ね備えた生徒
- ④困難な状況にあっても挫けることなく、怒濤精神で粘り強く邁進する生徒

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成及び実施に関する)

- ①特進クラスの設置や文理選択により、生徒一人一人の能力・適性・進路希望に応じた教育課程を編成する
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と、多面的な評価を推進する
- ③探究活動でキャリア教育を推進し、主体的に進路を選択する力を育成する
- ④総合的な探究の時間、学校行事および特別活動(生徒会活動・部活動)を通して、他者と協働して課題を解決する力と人間力を育成する

アドミッション・ポリシー

(入学生に求める力)

- ①基本的な生活習慣と学習習慣を身に付けている生徒
- ②目標に対し、周囲の人と協力して最後までやり通そうとする意欲がある生徒
- ③多様性を尊重し、心身ともに健全で、思いやりの心を兼ね備えた生徒
- ④学業や部活動等に積極的に取り組み、文武両道を実践する生徒

本年度の重点目標

- 日々の授業、学校行事、部活動など、すべての教育活動を通して、「主体性」「行動力」「思いやり」を身につけた生徒が育つ環境づくりを推進する
- (1) **学習指導の充実**
 - ①生徒が主体的に学びに向かう仕掛けづくりと授業改善を推進する
 - ②生成AIやICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る
 - ③スタディサプリ等を活用し、計画的、適切な学習課題を与え、自学自習の定着を図る
- (2) **進路指導の充実**
 - ①生徒一人一人の進路目標の明確化を図り、早期からの進路指導に努める
 - ②各種体験プログラムへの参加を奨励するとともに、同窓生や外部人材による講話等を通して、進路意識の向上とキャリア教育の充実を図る
 - ③特進クラスを中心に個別指導を充実させ、より高い進路実現を目指す
- (3) **働き方改革とメンタルヘルス対策の推進**
 - ①**健康第一**、教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を実感できる職場環境の整備を進める
 - ②**超過在校時間が月80時間を超えないよう**、業務内容の見直しと勤務時間の適正化に計画的に取り組む
 - ③部活動における外部人材活用や複数顧問制により負担軽減を図る
- (5) **教職員の資質向上と外部連携の推進**
 - ①教員相互の授業研究の奨励や研修受講履歴の活用を通して、教職員の資質向上を図る
 - ②近隣中学校への積極的な広報活動を行い、学校HPやSHS等で、生徒の活躍や本校の取組を発信する
- (6) **学校改革の取り組み**
 - ①令和8年度魅力ある学校づくり推進事業「生き生き活性化支援事業」に係る「総合的な探究の時間」の調査研究を行う
 - ②**コミュニティ・スクール(CS)**の導入に向けて、各教育委員会・保護者・地域等と連携協働体制を構築する